

卒業 ↑	到達目標 (DP)	温かいこころと豊かな感性を備え、人への深い関心をもち、個人の尊厳を守り、信頼関係を築くことができる	介護を必要とする人の自立支援とその人らしい生活を支えることのできる専門的知識と技術を修得している	根拠に基づいた介護過程の展開ができ、質の高い利用者本位のサービスを考えることができる	常に問題意識をもち、介護実践の質的な向上や介護をめぐる課題について探求し、より良い介護を追求できている	介護実習や地域交流等で、多職種との連携・協働や地域に貢献する必要性を理解できている	
	2 年次履修	後期	△介護特別講座 II ○いのちと健康 △発達心理学	○医療的ケアを必要とする生活支援 III・IV ◎障害の理解 II	○終末期の介護 □介護過程展開論 III	◇介護の基本 IV □介護総合演習 IV □総合的生活支援 II	◎介護の基本 III ◎居宅サービス展開論
		前期	介護総合実習 △介護特別講座 II ◎人間の尊厳と自立 □手話 □アクティビティ・サービス論 ◇死にゆく人の理解	○障害の理解 I ◇介護の基本 II △コミュニケーションと介護 II	□生活リハビリテーション □介護過程展開論 II	◎社会保障 II ○医療的ケアを必要とする生活支援 I・II □介護総合演習 III	□福祉住環境論
	1 年次履修	後期	個別援助技術実習 介護基礎実習 △介護特別講座 I △感性を高める表現	○発達と劣化の理解 I・II △情報処理演習 □生活支援技術の基本 III ○□こころとからだの仕組み III	□◇総合的生活支援 I □介護総合演習 II □認知症援助論 □介護過程展開論 I	◎社会保障 I ◇介護福祉論 II ◇介護の基本 I	◇生活交流演習
前期		介護導入実習 I・II △介護特別講座 I △対人コミュニケーション論 ○こころのしくみ ◇生活交流演習	△コミュニケーションと介護 I ○認知症総論 ○人体の構造と機能及び疾病 ○□こころとからだの仕組み I・II □生活支援技術の基本 I・II ◇家政の生活支援 I・II	□介護総合演習 I ◇介護過程総論 ◇生活支援技術総論	◇介護福祉論 I ◎現代社会と福祉	□ストレスと癒し ◇地域ボランティア演習	
		○ひとの命と健康を考える	□ひとの可能性を考える	◇ひとの生活を考える	◎ひとの権利を考える	△学修の基礎力を培う	
入学 ↓	入学生を受け入れ方針 (AP)	・人に役立つ介護の仕事に関心がある人 ・自分の心を耕して、成長したい人 ・人が好きですべてのものを愛せる人 ・人の思いに寄り添うことができる人 ・何事にも興味を持ち、意欲的な人					